

国立天文台周辺地域土地利用基本構想策定に向けた基本的な考え方（案）に関する主なご意見及び回答  
【地域団体向け説明会】令和5年10月～令和6年1月

※質問の趣旨を踏まえ、当日の回答から回答の骨子を再編集しています。

No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
(1) おおさわ commons に関すること			
1	西部図書館はどのような想定か。移転するのか。	他1件	学校3部制の検討において他市区の事例を研究してきた中では、図書館は地域利用の大きな要素になるものと考えています。そこで、西部図書館も移転の検討をし、閲覧スペースの充実やカフェの併設など、くつろげる場にしたいと考えています。また、学校図書館との連携・融合の在り方も検討していきます。
2	大沢コミュニティ・センターは、大沢4・5丁目の住人が中心かつ、調布の子ども達も来ているため、大沢全体のコミュニティではないと思っている。一方で、天文台の中に子どもが集える場を作ってほしいと思っている。学童は移転するのか。	他1件	学童は学校整備に併せて天文台北側ゾーンへの設置を検討しています。
3	カフェなどを併設する場合、学校には誰でも立ち入れるのか。セキュリティの考え方はどう考えるのか。	他1件	施設計画を検討する際にはセキュリティには十分配慮します。
4	天文台の敷地でこの構想の施設が本当に実現できるのか。市域の端で人が集まるのか。今、活気があるのは駅周辺の立地が良いエリアで、市域の端の地域では商店街も廃れてきている。		立地だけでなく行きたくくなるような設えがあれば人は来てくれると考えています。人が集まるようなコンテンツを整えた、森の中のカフェ併設型の図書館などは魅力になると考えます。
5	天文台があるのだからもっとまちづくりに活用してはどうか。施設のアイデアをある程度示していただくと意見を言いやすい。		天文台の中には歴史的価値のある施設がたくさんあります。天文台には見学者も訪れていますが、食事・喫茶の場所が欲しいとの声をいただいています。地域の皆様からもご意見をいただきながら、どのように使っていただけるかを考えていきます。
6	国立天文台の敷地に民間企業や商業施設は入るのか。		現時点の検討において、天文台北側ゾーンに整備する民間企業や商業施設については、図書館に併設するカフェ程度と考えています。
7	大沢の里への見学は三鷹市内全域から来ているので、整備の際に（バスの停留所などを）配慮してはどうか。		学校整備に合わせて道路を整備し、大沢の里へもバスで訪問しやすいようにしたいと考えています。
8	スクールバスで送迎する計画があるようだが、南側の一般の住民が施設を利用したい場合、天文台の中を通れるようにできないのか。		天文台には相談はしていますが、セキュリティの問題があり、現時点では難しい状況です。
9	有事の際は学童まで迎えに行かなければならない。学童だけ現在の立地に残しても良いのでは。		様々なご意見を頂きながら幅広く検討していきます。
(2) 新学校に関すること			
1	通学路が長くなることへのケアはきちんとしていただきたい。通学時間はどのくらいになるのか。通学のサポートを行う対象はどうか。	他4件	基本的には、小学1年生から3年生の低学年を想定しています。通学距離は、最大2km程度ありますので、子どもの足で30分程度と見込んでいます。スクールバスの導入については、羽沢小跡地から新学校までのピストン送迎など、ある程度歩くことの必要性も含めて検討していきます。
2	新しい学校のために道路はつくるのか。	他2件	天文台通りから歩道のある新設道路の整備を検討します。
3	大沢台小と羽沢小が合併するのか。名称はどうするのか。第七中の建物は今後も使用するのか。	他1件	第七中を含め一つの学校として義務教育学校の制度の活用を検討を進めています。名称はこれからの検討となります。第七中は市内の中学校の中では比較的新しいため、建替ではなくリニューアルの方向で検討します。
4	義務教育学校の好事例があるとわかりやすい。メリット・デメリットも整理してほしい。	他1件	義務教育学校は平成28年に制度化されたものです。都内では品川区や八王子市で実績があり視察しました。メリットは、小・中の教員が一つの組織となり一体的な指導ができることや、小学校での教科担任制を採用しやすいこと、子どもたちの縦の関係が良くなることなど学習・生活面でメリットがあります。デメリットは、6年生が最高学年としての自覚を得にくいことなどがありますが、自覚できる場面の設定を工夫することでデメリットを解消している事例も多くあります。今後、研究会を設置し、三鷹らしい義務教育学校の在り方を研究していきます。
5	同じ学校と一緒にいることで、異年齢の関係性がうまれるのはよいと思う。	他1件	義務教育学校の視察では、異年齢の交流が生まれ、年長の子が年少の子の面倒を見る意識が生まれているように感じました。
6	羽沢小学区の人たちは、なぜ不便な国立天文台北側敷地に学校を移転するのか疑問がある。国立天文台の北側ゾーンは人目につきにくいことも心配。ほかの敷地があるのではないのか。	他1件	羽沢小学校については、風水害時の避難所にならないなど課題がありました。大沢地域に他の移転先の候補地は見つかっていません。また、避難所や学校教育の問題単体だけではなく、総合的なまちづくりの視点から移転が適当と考えます。
7	学校の先生も人手不足と聴いている。学校が一つになり、先生の融通ができるのはよい。先生の総数が減らせるのもよいと思う。		第七中を含めて一つの義務教育学校として検討しています。
8	小6から中1への区切りは大きな成長の機会であり、区切りなく連続してしまうことはないように工夫してほしい。		成長段階を子どもたちが捉える仕掛けは必要と考えています。義務教育学校においても6年生で卒業式のような区切りの行事を行う事例は多くあります。
9	新しい取組をしてほしい。小中学校一体もよいと思う。		義務教育学校の制度の活用を検討を進めています。全国に約200校の実績があります。小・中学校それぞれの文化を大事にしつつ、小中切れ目ない教育を推進したいと考えます。学校配置は今後の検討になります。
10	交通安全の観点で、通学環境を考えてもらいたい。天文台北側ゾーン周辺は4m道路が多いため、子どもが安心して歩けるようにしてもらいたい。第七中と野川をつなぐ通路は階段しかない。ちゃんとした道路の整備を検討してもらいたい。		崖線沿いの道路環境についても検討していきます。
11	今は昔よりも歩道があり、羽沢小裏側あたりから新学校まで通学することは問題ないだろう。ただし、エリアによっては遠いと思う。しかし、通学路の問題は距離だけではなく、距離は短くても、道路が狭くて危ないところのことも考えてもらいたい。		これまでも東京都への道路工事の要望や警察署に信号機を変えるなどしてもらっていますが、ご指摘のエリアは道幅の狭い道路が多いため、危険箇所は確認していきます。
12	昔は学校が遠くても集団登校していた。今は集団登校もないため、地域のまとまりを感じられなくなっているが、集団登校することで中間意識ができコミュニティが形成されるのではないのか。		ご指摘の視点も考慮し、通学のあり方を検討していきます。
13	コミュニティ・センターの体育館は天井が低く、音響が悪い。新しい体育館では音楽演奏ができるように音響をよくしてもらいたい。移転してよかったと思ってもらえるような森にマッチした学校にしてほしい。将来も見据え、50年後を想定した学校づくりをすべきである。		学校の最新事例では、可変性のある構造が潮流です。様々な学校を参考にしつつ、検討していきます。
14	私立の中高一貫の場合、同じ校舎内で中高生の区別がつかないが、今回の小中一貫の場合、第七中の生徒が新小学校のほうに来ることも考えられるのか。		今後の検討によりますが、可能性としてはあり得ます。
15	卒入学式の時、学園内の学校の校長らが来賓席にいるなど、小中一貫と云えど既存の小中分離の枠組みから離れられていないように思う。別々の学校ではなく、おおさわ学園初等部・中等部のような扱いにしてはどうか。		ご意見として承りました。

No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
16	学校と地域との交流は昨今の流れではあるが、既存の学校ではシルバーの方が守衛で立つなど、防犯対策が必要になっている。新しい学校でも対策は考えているのか。		地域の共有地としての学校のあり方について、先行事例の調査研究なども行いながら検討を進めており、防犯対策についても検討課題としています。
17	グラウンドは七中のもを使うのか。(グラウンドを整備すると)緑の保全とは矛盾するのでは。		まだ具体的には決まっていません。子どもたちの利用のしやすさも考えて検討していきます。
18	小中をつなぐ計画はあるのか。		第七中と北側ゾーンの間には道路がありますので、どのようにつなぐかは今後検討します。
19	計画には賛成だが、整備する施設がきちんと敷地内に収まるのが気になる。羽沢小を整備する際の検討に関わっていたが、もとは児童数増への対応だったものの、結果として児童は増えていない。小学校を統合するのは良いが、児童のことを考えて計画してほしい。		ご意見として承りました。
20	児童数が減少するならば少人数学級になってむしろ良いことではないか。		児童数が少ない学校の良さもありますが、羽沢小学校は、近い将来、1学年1学級になると予想しています。1学年1学級になった場合、クラス替えができないなど児童の人間関係にも課題が生じ、学校運営上好ましくない状態になります。なお、1クラス当たりの児童数は35人学級が基準ですので、1学年当たりの児童が少なくなったとしても、必ずしも少人数学級にはなりません。
21	PTAの集会場はどこにするかの想定はないのか。		学校施設の内容については、学校3部制の中で地域の方にも利用していただくことを前提としながら検討していきます。
(3) 緑の保全に関すること			
1	天文台北側エリアについて、竹林などが生い茂っている。緑をそのまま守ることは難しいと理解できる。お金もかかるだろうがしっかり管理してほしい。	他7件	天文台との連携協力のもと、緑の保全・再生の専門家のアドバイスをいただきながら、保全計画を立てて管理し、市民の皆様が憩える緑にしたいと考えています。
2	緑の保全と施設の統廃合は両立しないのではないかと。竹林は管理すればきれいになるし、防災に活用できる。市と市民で管理すればよいのではないかと。		活用を予定している北側ゾーンは元々官舎があった場所で、撤去後は管理も行き届いておらず、現状のまま維持できる良好な緑ではありません。天文台との協定に基づいてまちづくりを検討していますが、天文台の敷地を無料で利用できるわけではありませんので、緑地管理のためだけに市が利用することは難しいと考えます。
3	気候変動を考慮した際に、緑をそのまま残す案はないのか。		市内には借地の公園も多く、買収による公有地化を進めています。借地公園の公有地化には多額の経費を要しますので、新たに都市計画公園単体のためにまとまった土地を購入することは財政的に難しい状況です。
4	過去の写真はありますか。北側ゾーンには昔から森があったわけではないのだから、官舎があったところの写真を公開してほしい。森に対する市民の誤解を解くには過去の写真を見せたほうがよい。		官舎があったところの写真は基本構想に掲載するよう準備します。
(4) 防災に関すること			
1	台風19号の際には、大沢台小・第七中に避難所を開設したが、台風19号程度なら、羽沢小でも浸水はしない。まずは羽沢小に避難し、危なくなりそうであれば、大沢台小に避難するという2段階の避難もあるのではないかと。	他1件	野川より南側の地域住民は浸水してからでは橋を渡れないため、早期避難が原則と考えます。
2	羽沢小は周辺に比べ一段上がっているため、調布市側が浸水しない限り、羽沢小は浸水しないのではないかと。	他1件	ハザードマップでは、羽沢小は1m程度浸水する予測です。令和元年の台風19号の時には、福島県ではハザードマップ通りの浸水がありました。
3	以前の説明会でも羽沢小は構造上安全ではないかという意見が多かった。平成17年の豪雨で、時間当たり95mm(正しくは105mm)の雨で床上浸水の被害が出た。現在は野川大沢調節池が整備されたが、65mm分の貯留量があるのではないかと。現状の設備では氾濫する危険があるという理解でよいのか。	他1件	時間最大雨量65mmの計画のうち、調節池は複数で5mm分を賄う計画で、大沢以外の調節池は未整備のものもあります。野川大沢調節池だけで65mmまで対策できているわけではありません。ハザードマップは100年に一度の規模を想定していますが、岡山、福島ではハザードマップの想定通りに被害が出ており、いつ東京でそのような被害が起きてもおかしくない状況です。
4	どの程度の降水量で浸水するのかが知りたい。具体的な場所と浸水深がわかれば、もう少し協力的な意見が出てくるのではないかと。ハザードマップで色塗りをして、数字で示さないと理解されにくい。	他1件	数字がわかる資料は準備出来次第お示しします。
5	ハザードマップは実感がない。都心では電柱に津波の浸水深の掲示があるが、まちなかに視覚化されると実感を持ちやすい。野川周辺には市が管理する街灯があるのだから、浸水深の高さにテープを巻くくらいのことは少額の予算でできるだろう。目に見えてわかることで安心が得られる。	他1件	今後、検討していきます。
6	この検討の出発点は、羽沢小が水害時の防災拠点にならないことへの問題意識だったと思うが、他市ではそのような小学校が多数ある中で羽沢小はなぜこのような移転の考え方が当てはまるのか。		最近では予想が困難なゲリラ豪雨も多くなっているため、児童の安全確保等の観点から、対症療法ではない防災拠点のあり方をご提示しています。
7	どのような状況のとき、どこへ逃げるのか等の事前のシミュレーションは必要である。		風水害時や地震時などの様々なケースで、実際に住んでいる住民の皆様と一緒に考える必要があると考えます。
8	市内で最後にできた羽沢小がなぜ一番危険な立地にあるのか。		羽沢小開校当時はハザードマップがなく、同校の立地が水害上危険であることは認識していませんでした。国の指針を受けてハザードマップを作成した際に、羽沢小や大沢コミュニティ・センターが浸水予想区域内にあり、避難所として利用できないことが明らかになったところです。
9	水害については、台風19号で避難所を開設したのは1日だけだったと記憶している。広島などでは4日間降り続けていたが、4日降れば降雨量も4倍になる。周囲を水に囲まれた場所では避難しても危険だろう。子供たちが安全なところで過ごせるよう、高台に移転したほうが良いのではないかと。		ご意見として承りました。
(5) 羽沢小・大沢台小跡地利用に関すること			
1	羽沢小の跡地については、浸水予想区域内にスーパーを誘致できるのか。	他1件	浸水リスクなどを説明のうえ、具体的な条件は公募の際に示していきます。一時避難場所としての活用も基本的な考え方に示している通り、防災機能の継続も検討しています。
2	将来、子供が少なくなる中で、小学校が2校は不要ということは理解できる。羽沢小学校の跡地について、もしスーパーになったとき、一時避難場所の機能はどうなるのか。		地震時の一時避難場所の指定を検討しています。
3	近隣市の事例のように、民間事業者が公共施設も併設してもらう手法もあるのではないかと。スーパーを誘致する際、公会堂的な機能を併設することはできるのではないかと。		官民連携で、商業施設の中に公共施設が入っている事例はあります。引き続き検討していきます。
4	大沢台小跡地は不登校の児童のための学校をつくることだが、不登校特例校にする場合、最初が不登校でも、途中から登校できるようになるかもしれない。その場合は、不登校特例校にそのまま通学するのか、新しい義務教育学校に移転するのか。		一般的に不登校特例校の場合、学区域の学校から籍を移すことになります。子どもの状況に応じて学べる場所を選択できるようにしていきたいと考えます。



No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
5	緑の保全や児童減少を総合的に見て検討していると思うが、移転跡地が大沢4・5丁目の住んでいる人にとっていかに利用価値のある土地利用になるかが重要である。常に浸水するわけではないのだから、自治会館や公共施設なども検討してほしい。大沢地域の総合的な施策を示していただきたい。商店街や市場など商業施設のスーパーに限らず検討してほしい。		総合的なまちづくりの視点から検討を進めていきます。
6	羽沢小の移転跡地はスーパー誘致ではなく、コミュニティ・センターを跡地に移転してより広域対応ができる避難所とするなど、考えられる手法はいろいろとある。また、コミュニティ・センターの立地でも水害対応の避難所もできるのではないかと考えているので、それも含めて検討してほしい。		大沢コミュニティ・センターについては、住民協議会の意向もありますのでご意見を聴きながら協議を進めていきます。また、野川沿いの避難所についても検討していきます。
(6) その他のご意見			
1	大沢コミュニティ・センターは古く、浸水予想区域内で（水害時の）避難所に指定されていない。大沢コミュニティ・センターの移転も考えているのか。	他4件	大沢コミュニティ・センターについては、住民協議会の意向もありますのでご意見を聴きながら協議を進めていきます。
2	いい構想で始まっていると思う。だからこそ、のちのちこれも欲しかったという事にならないよう、地域の声もきちんと聴いた上で、進めてもらいたい。説明会は定期的に設けてほしい。	他2件	適宜説明会等の開催を検討します。また、PTA・住協・保護者・市民向けなども実施します。
3	学校3部制の3部の管理業務の想定や、避難所運営を考えると、コミュニティ・センターや住民協議会も一緒に移転するべきだと思う。	他2件	大沢コミュニティ・センターを移転するかについては、住民協議会の意見も考慮していきます。野川右岸にはコミュニティ・センター以外の公共施設がないため、そのことも踏まえて検討を進めていきます。
4	開校までのスケジュールは。	他1件	土地利用基本構想で開校の目安のスケジュールをお示しする予定です。
5	この事業は東京都との共同事業なのか。事業費は三鷹市がすべて負担するのか。	他1件	事業者は三鷹市ですが、国の補助金や道路整備に関する東京都の補助金は利用していく考えです。
6	野川は一級河川なので、河川の防災に関する事は東京都もお金を出すべきではないのか。国や都に予算を出してもらおうよう努めるべきだ。	他1件	今回の事業について、国や東京都が事業費を負担することはありませんが、国の補助金や都の補助金は利用していく考えです。
7	(大沢コミュニティ・センターは)分館でよいので現在の位置にも残してほしい。		大沢コミュニティ・センターについては、住民協議会の意向もありますのでご意見を聴きながら協議を進めていきます。
8	大沢の問題点は高齢化・人口減少で、若い人が引っ越して来ず、高齢者の買い物も不便である。若い人が集まる活気あるまちのイメージがなければ、新しい小学校も児童が減り続けるのではないかと。		今回のプロジェクトは、大沢地域全体のまちづくりです。事業の実施により、選んで住んでもらえるまちになることを期待しています。
9	大沢地域が選ばれない理由に通勤の問題がある。どこへ行くにもバスが必要である。職住近接で勤め先が近隣にあるとよい。夢のある計画にしてほしい。		テレワークも増えていますので、図書館の閲覧スペースにワークスペースなども設け、子どもと一緒に通えることも考えています。また、市内全域からも来てもらえる居心地の良い場所にしていきたいと考えています。
10	遺跡（試掘）調査はいつ終わるか。		現地での遺跡試掘調査は令和5年11月末に終わる予定です。
11	この事業は次の50年を展望するスケールの計画だと考えている。国立天文台が移転してきた際、まちの中心の土地を譲ったため、コミュニティの中心にあった八幡神社・長久寺が移転することになった。コミュニティ・センターも市域の端にあり、地域がまとまりきらないのは、物理的・感情的に地域が分かれてしまったためではないかと考えている。天文台が土地を手放すのは千載一遇のチャンスで、市長の決断は英断だと思う。真空になった中央に新しい命を吹き込む事業になることを期待している。		天文台敷地の北側ゾーンを活用することで大沢地域全体のまちづくりに資する取組にしていきます。多くの地域住民の皆様にご覧いただけるまちづくりを検討していきます。
12	費用対効果が最も良い計画を検討しなければならないが、実現性のある計画として説得していく必要がある。羽沢小卒業生の心情もあると思うが、三鷹市としても覚悟して、普通財産としての活用も含め、財源を作り出すこともセットで考えていかなければならない。		予算計画や事業規模は整備計画でお示しできるように検討を進めていきます。また、多角的な財源確保に向けて取り組んでいきます。
13	大沢地域の総合的なまちづくりを考えたいので判断してほしい。基本構想には学校のことでなく、地域のまちづくりを整理してほしい。子ども、保護者、高齢者、先生など様々な方の視点に立って良い方法を検討してほしい。		天文台敷地の北側ゾーンを活用することで大沢地域全体のまちづくりに資する取組にしていきます。多くの地域住民の皆様にご覧いただけるまちづくりを検討していきます。